

## 上宮寺通信

第五十五号

## 家康と真宗(東本願寺建立)

三河一向一揆の後、徳川家康は遠江・駿河の平定へ力を注ぐようになります。同じ頃、織田信長は石山合戦といわれる大坂石山本願寺との10年にもおよび戦いをしていました。

石山本願寺は蓮如上人(第8代)の時代に築かれ、いまの大坂城のあたりに大きな寺内町を構えていた浄土真宗の本山でした。

堀をめぐらした城のような固い守りと、反信長の大名らの支援もあり戦いは膠着状態となり、正親町天皇の仲裁による和睦が図られることとなったのです。

そのときに本願寺内では当時の宗主である顕如上人(第11代)を主とした和睦派、顕如上人の長男・教如上人を主とした抗戦派に分裂します。抗戦派は本願寺に立てこもりますが、結果的に本願寺は敗れ、教如上人も逃れることとなったのです。

その後、本能寺の変が起こり、豊臣秀吉の時代になります。秀吉と本願寺の関係は良好で、京都に寺を再興することが許されます(いまの西本願寺)。

顕如上人滅後、宗主を教如上人としますが、秀吉はすぐに弟・准如上人に譲るように命じます。これには諸説ありますが、石田三成の策略があったといわれています。

教如上人は本願寺を追われ各

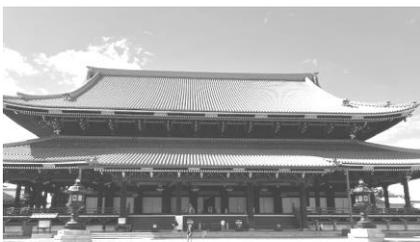
地を転々としますが、そのときに石田三成と対立する家康と親交を深めたようです。そのため関ヶ原の戦いでは家康側を後方支援するようになりました。

関ヶ原の戦いで勝利した家康は、石田三成側についた准如上人にかわり本願寺の宗主の座を教如上人に再び継がせようとしています。しかし、本願寺の内部は准如上人派と教如上人派に完全に二分しており、家臣・本多正信の助言もあり家康は教如上人に寺地を与え、新たに本願寺を作らせたのです。これがいまの東本願寺になります。

その背景には、三河一向一揆で苦い思いのある家康が、本願寺が統一して力を持つより、このまま二分して浄土真宗内部で

対立していたほうが得策と考えたからでしょう。しかし近年、教如上人のほうが独立を望み家康に寺地の寄進の願いを申し出たという書状が見つかったといわれています。

歴史の真相はわかりませんが、東本願寺の建立には徳川家康が大きく関わっており、その後、東本願寺は幕府側、西本願寺は朝廷側としてその歴史の歩みを進めていくのです。



現在の東本願寺御影堂

## 家康と真宗 二つれ話

家康はなぜ東本願寺をあの地に建てたのか？真偽は定かではありませんが、こういう話があります。

秀吉が亡くなった後、京都の東・阿弥陀ヶ峰に豊国廟(墓)が建てられました。その墓と西本願寺を結ぶ線上には秀吉建立の大仏があった方広寺があり、さらに方広寺と西本願寺の間には「正面通」という道もありました。つまり、この道を通って秀吉は仏のご加護を受け極楽へ参ることを表し、まさに秀吉の権威の象徴でもあったのです。

その道を分断するため建てられたのが東本願寺。現在も「正面通」はありますが、地図を見ると東本願寺と涉成園で分断されています。信じるか信じないかはあなた次第です。

### ◆行事案内

3月8日(水)

春のお彼岸・永代経法要

時間：午前10時～

法要 引き続き 法話

(正午頃終了予定)

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

※マスクの着用をお願いします。

※午後の法要、お斎、呈茶はございません。

※軽食を用意いたします。

宗祖親鸞聖人

御誕生八百五十年・

立教開宗八百年

## 慶讃法要

(第一期)3月25日～4月8日

(第二期)4月15日～4月29日

京都・東本願寺

### ◆話題あれこれ

○3月8日には春のお彼岸・永代経法要をおつとめします。新型コロナも落ち着いてきました。本堂内ではマスク着用のご協力をお願いいたします。

○今年のお彼岸は18日(土)から24日(金)までとなります。八事の上宮寺墓地のお墓や納骨塔にお参りの際は18日から21日まで交通規制がありますのでご注意ください。

○今年も東照宮舞楽祭(4月16日)は中止との連絡がありました。残念です。

○いよいよ今月25日から京都・東本願寺にて慶讃(きょうさん)法要が厳修されます。

○花粉症の人には辛い季節です。御自愛ください。

### 【雑感】

最近ではテレビや新聞のスポーツニュースをみるのが楽しみになってきました。ドラゴンズは順調なキャンプを送ったようで、若手のレギュラー争いが熾烈です。誰が開幕スタメンを勝ち取るのでしょうか。また今月はWBCがあります。史上最強といわれる侍ジャパン。第1回、第2回大会以来の優勝はあるのでしょうか。そしてドラゴンズから唯一選ばれた高橋宏投手の活躍に期待大です。春のセンバツ高校野球もあるし、今月は野球好きにはたまらないですね。(住職記)

### 【発行】

真宗大谷派

## 上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547